

杜の伝言板

ゆるるる

特集

復興への道

待たれるデイサービス施設
～倒壊の危険に防空頭巾

● NPO法人 みやぎ身体障害者サポートクラブ

中間支援組織として被災者を支援

● NPO法人 おおさき地域創造研究会

被災NPOに大きな支援

● 財団法人 愛知揆一福祉振興会



▲ NPO法人 みどり会



▲ NPO法人 みやぎ身体障害者サポートクラブ

復興への第一歩！
「菖蒲田浜・復興まつり」

● セヶ浜再生プロジェクト

やることがある喜び

● NPO法人 みどり会

幸せを感じられる未来に向かって

● 復興支援「EGAO(笑顔)せんだい」
サポートステーション



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

● トピックス

「NPOで高校生の夏ボラ体験2011～三日間の新しい気づき～」

● みやぎNPOプラザ

「NPOのコミュニティビジネスを応援！～ショップスペース～」

待たれるデイサービス施設 倒壊の危険に防空頭巾

NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ

宮城県栗原市一迫で、主に交通事故や脳血管疾患による後遺症などで中途障害者となった人たちに、自立と社会参加の支援をしている団体です。理事長の野澤タキ子さんは、夫が脳梗塞で半身マヒになったことがきっかけで、リハビリをしてもなかなか社会復帰できない中途障害者の方が多いことを知り、2001年6月に中途の若年障害者家族会を結成。その方たちが孤独にならないように集まれる場所を作り、生きがいを持って生活できるように、2003年にNPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブを設立し、身体障害者デイサービス事業を開始しました。



▲野澤タキ子理事長

「一迫地域の多くの方が会員になってくれたおかげで資金が集まり、設立することができました。」と野澤さん。毎年開催する収穫祭や流しそとめんのイベント時には、毎回、たくさんの方の地域の方も参加して盛り上がっています。現在は、障害者自立支援で「デイサービスとショートステイができる施設「サポートセンターころんぶす」と高齢者介護保険での「デイサービス施設「サポートセンターころんぶす」の二施設を運営しています。

避難所として

三一一の地震発生時は、落ち着いてなんとかその場で対処することができました。家族と連絡が取れて帰宅できる利用者はない利用者は施設に職員と共に泊まりました。電気と水道が止まったため、デイサービスは次の日から休止する予定でしたが、利用者の安全確認をした際には「施設に来たい」という要望が多かったため、震災発生後の次日から施設は開放しました。

クラブは、以前から地域の方たちや栗原市とも良い関係を築いていたため、利用者の家族や地域の方、栗原市からも食べ物等の物資が沢山届きました。また、利用者や家が地震で倒壊した地域の方、そして避難所では生活できなかつた車いすの方など、様々な方が数日から一か月以上「サポートセンターころんぶす」に滞在し、地域に貢献することができました。



▼和やかな施設内

耐震診断で 倒壊の可能性が

介護保険で「サポートセンターころんぶす清水」は、地震の影響で、ほとんどの柱が縦にひびが入り、天井が一部剥がれ落ちそうになり、浴室が沈下するなどの被害がありました。幸いケガ人もなく、施設は心配しながらも再開しています。



▲サポートセンターころんぶす清水

しかし、施設は築年数が古く、度重なる地震の影響で雨漏りなども起こったため、建物の耐震診断を頼みました。結果は、「倒壊の可能性が高い」という診断でした。この診断結果では、お金をかけて補強工事しても危険が残ります。現地ではまだ余震も多く、心配な日々が続いており、もし、利用者がいる中で大きな地震が来ると大変なことになります。そこで、六月に理事会を開いて検討した結果、現在の「サポートセンターころんぶす清水」の施設を手放し、「サポートセンターころんぶす」の隣の土地に施設を新築することにしました。新築するといっても助成金や補助金があるわけでもなく、法人の資金と借入金で賄わなければなりません。いつまた大きな地震が来るも知れない状況の中、早期に施設を建築しなければなりません。早速準備を始め、今年の十月から着工することになりました。

いざというときに 大切な事

地震で家が崩壊してしまった利用者もおり、デイサービスを再開したときには、多くの利用者が強ばった顔をしていました。また、何日も起きて家から出て来れない利用者もいました。しかし、一時休んでいたデイサービスが始まっていつもの利用者が集まってくると、だんだん笑顔も戻り、賑やかな居場所になりました。でも、地震が来るといつ倒壊するかわからない施設でもあるので、利用者は、みんな座布団を合わせた防空頭巾を作り、万が一の時に備えています。施設を新築するまでは、防空頭巾は手放せません。

「地域の皆さんから「デイサービス」を続けてくれてありがとう」と感謝の言葉をいただいた。これからは安全、安心な施設として、これまで通り、地域の力になっていきたいと思っています。そして地震の時に地域の方から頂いた恩を忘れず、いざというときに自然と助け合えるよう、日頃からの付き合いを大切にしていきます。」と野澤さん。今では「サポートセンターころんぶす」は、市の指定避難所として登録されています。

NPO法人
みやぎ身体障害者サポートクラブ

〒987-2308
宮城県栗原市一迫真坂字館町135-4
●TEL 0228-52-2889

中間支援組織として被災者を支援

● NPO法人 おおさき地域創造研究会

大崎地域で中間支援組織として、地域住民向けのワークショップや講座の開催、行政への提言などを行っている、(特活)おおさき地域創造研究会。六、七年間の任意団体での活動を経て昨年NPO法人となり、八月七日に活動拠点の事務所開きを行いました。「NPOで高校生が夏ボラ体験」に参加している涌谷高校一年の今野裕稀君もこの日参加し、事務所の掃除や什器の移動などを手伝いました。

▼竹切りをする今野君と武蔵君



かしたいと、考えています」という話に、地域にこうした活動をしているNPOがあることを全く知らなかったと今野君は思いました。

●●● 夏ボラで 地域支援活動を体験 ●●●

「中学時代の友達が以前ボランティアに参加した時に、とても感謝されたことや体験が楽しかったことを話してくれて、以前から興味を持っていたので参加しました。二日目の以降の被災者支援の作りを特に楽しみにしています。午前中には白旗成典代表から団体についての紹介やNPOについて、将来働く際の心構えなどのレクチャーも受けました。「私たちは、大崎地域の多くの方たちの声を拾ったり繋いだりしながら、住民が暮らしやすい気のある地域を作るための活動をしています。今後は地域の若い人たちの意見も吸い上げ、街づくりに生

一昨日は、研究会が取り組んでいる被災者支援の新聞バッグ作り、三昨日は、病気で初日から参加できなかった涌谷高校一年の武蔵君も加わり、竹切りなどを手伝いました。今回の体験を通して今まで以上に、自分の暮らす地域に目を向けるきっかけになったことでしょう。

●●● 新聞バッグで 被災者を経済的に支援 ●●●

四月二十一日、研究会は鳴子地域に避難している被災者を元気づけるため、岩出山地区の農家が被災者支援のために立ち上げた団体「海山ネットワーク」と共に、岩出山の梅園で「梅を見る会」を開催しました。その席で多くの方から「毎

日時間を持って余している。何かしたい」という話しを聞きました。そこで研究会事務局長の小玉剛子さんと海山ネットワークのメンバーが、鳴子地域でできる仕事で、さらに収入につながるものはないかと模索し、新聞紙を使ったエコバッグ作りになど力を入れました。

これは地元紙を使ってエコバッグを作り、海山ネットの農産加工品などを詰めて販売するというものです。エコバッグは一つにつき百円から二百円が作成した被災者の方に支払われます。「今回の新聞エコバッグは、被災者の収入に少しでも繋がれば」という想いで取り組んでいきます。それと、時間の経過と共に情報が少なくなり、多くの人が震災のことを忘れていく中で、震災の記事が載っているバッグを手にする事で、「震災を忘れない」というメッセージも込めています」と小玉さん。

五月から三人程度で始めましたが、その後十数人に増え、避難先の温泉でわいわいとおしゃべりしながら作成していました。現在は多くの方が南三陸町や女川の仮設住宅に移り、現地で内職として取り組んでいいます。今後は少しでも収入アップにつながるよう、販路拡大に取り組みしたいと考えています。

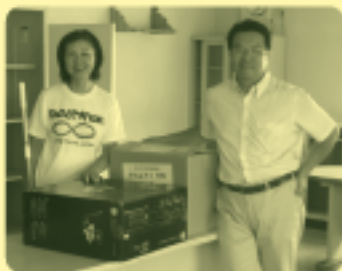


▲地元紙を使った新聞エコバッグ

●●● 復興支援の 調整役として活躍 ●●●

今回のプロジェクトの事務局は、今までの活動で培ったノウハウやネットワークを活かし、研究会が担っています。プランを立てたり、さまざまな手続きをしたり、関係機関と繋いだりと、裏方としてバックアップし、プロジェクトがスムーズに進むよう支えています。

「現在、多くの団体や企業などが復興支援をしています。そうした活動を繋いだり、調整することで、予想もしないような効果が生まれやすくなります。今回のプロジェクトはひとつのモデルケースとし、今後中間支援組織としてさまざまな支援をしていきたいと思っております」と白旗さん。



▲白旗代表と小玉事務局長

NPO法人
おおさき地域創造研究会
 〒989-6133
 大崎市長古川米倉字屋敷42-1(新事務所)
 ●TEL/FAX:0229-22-9590
 ●E-mail: fjkjm533@yahoo.co.jp
 ●http://www.k5.dion.ne.jp/~egao3/

被災NPOに大きな支援

●財団法人愛知揆一福祉振興会

社会福祉団体が行う福祉事業に対し、必要な援助をすることにより、社会福祉の資質の向上及び増進に寄与することを目的としている財団法人愛知揆一福祉振興会は、平成十九年、ますます多様化する現代において市民活動の重要な意義を考え、さらに一歩進んだ活動へ、現在の活動がより成熟し社会全体に視野を広げた活動となることを期待して「みやぎ社会貢献大賞」を創設いたしました。

一年に一回、エントリーしたNPOの中から一団体に百万円を贈るといふ、まさに、ひたすら地域に貢献してきたことへの褒美として、現金百万円が贈られてきました。これまで大賞に選ばれたNPOは、第一回目がNPO法人せんだい杜の子ども劇場、第二回がNPO法人どんぐりの家、第三回が、NPO法人ワンファミリー仙台、そして第四回目である昨年度の大賞は、NPO法人愛の会が選ばれ寄贈されています。

五回目という節目を迎えた今年、三月の大震災を受けて、財団は理事会を招集し、多くの被災者が出ていた宮城県に対してどう支援すべきを検討されました。その結果、本年度は五百万円を上限とした「特別緊急大災害支

▼創る村



援事業」として行うことが決議されました。

しかし、その実態がなかなかつかめないうち、支援対象を決定できないでいたところ、財団が会員となっているNPO法人杜の伝言板ゆるるが、四月からの調査を基に明らかになった、資金を必要としている被災NPOの寄付応援サイト「復興みやぎ」が公開されたのを受け、七月に事業緊急会議を開催。新規事業を開始する寸前に、新築した「イサービス」の一回に津波が入り被災したNPO法人・創る村の「老葉子の家」に対し、復興支援を行うことが決定しました。

創る村「老葉子の家」

東松島市でフリースクールを開設して来たNPO法人創る村は、三十周年を迎える今年の四月、東松島市東名に敬老施設「老葉子の家」をオープンする予定でした。津波被害での施設の改修工事を余儀なくされ、再開費用約千七百万円を捻出するため、各所に支援を呼び掛けていたのです。

この「老葉子の家」は、高齢者「イサービス」だけではなく、敷地内にあり、一部被災したフリースクールの一部もこの施設に入り、若者と高齢者から同じ空間を共有することで生まれる、お互いの尊敬の念を育む場所にもなります。

贈呈式で歌声の返礼

去る八月一日、特別緊急大災害支援をするNPO法人創る村の「老葉子の家」に財団理事等六名で訪問し、支援金の贈呈式を行い、五百万円の目録が渡されました。

老葉子の家が建つ東松島市東名地区は、震災の二ヶ月後に水道・電

気のラインが回復し、七月末にようやく電話回線が開通しました。老

葉子の家



▼被災した老葉子の家



を被災後もスタッフや利用者が離れずに住んでいたことで、周囲の数軒の住民が戻ってきていました。後は、念願の「イサービス「アートステージ」を開始できるよ

う、準備が進められています。贈呈式でNPO法人創る村の船屋善敏理事長は、「被災したときは途方にくれましたが、多額の支援金をいただき、たいへんありがたいですね。先がばあつと明るくなった感じがします。」とお礼の言葉があり、そのあとは、フリースクール仲間やスタッフのすばらしい歌謡を聞かせてくれました。

この「老葉子の家」は九月中旬、五ヶ月遅れのオープンに向けて準備を進めているほか、スタッフは、電子ピアノを携えて、被災地でのコミニケーション・コンサートを開く予定も進んでいます。

財団法人
愛知揆一福祉振興会

〒980-0183
仙台市青葉区米ヶ袋1丁目5-21
●TEL 022-262-0666
●FAX 022-227-1320
●HP <http://www.aichi-fukushi.org/index.php>

復興への第一歩！ 「菖蒲田浜・復興まつり」

七ヶ浜再生プロジェクト



▲ 海岸清掃の様子

「津波により被災した三陸の海を以前の美しい海岸に取り戻そう。その一歩をこの七ヶ浜から始めて行こう」という名古屋のNPO法人「スキューズストックヤード」の呼びかけにより、仙台の財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MEELON)や豊かな海を守る会、仙台サーフショップユニオン、七ヶ浜ハマボウフの会、NPO法人杜の伝言板ゆるる、多賀城市民活動サポートセンターなど多くの団体が参加し、浜再生プロジェクトが始動しました。

七月二十三日から毎週土曜・日曜に一般ボランティアを募集し、七ヶ浜町菖蒲田浜で海岸清掃を行っています。一日に約五十人前後の方々に参加し、汗を流しながら海岸の清掃を行い、徐々に以前のきれいな砂浜を取り戻してきました。例年、菖蒲田浜で行われていた夏祭りは、大規模な津波被害により今年開催しないことになっていま

したが、七ヶ浜再生プロジェクトの海岸清掃による働きかけや地元住民の声もあり、九月十日(土)、「海を町を人を元気に」をテーマに「菖蒲田浜・復興まつり」の開催が決定しました。

海に向かって黙祷

会場となる七ヶ浜町菖蒲田浜海水浴公園では、復興まつりの当日、十二時四十五分から、通常通り、菖蒲田浜の砂浜で清掃をします。そして午後二時から「前へ進もう！三、二、一復興せよモニー」に移り、地震があった午後二時四十六分には、海へ向かっての黙とうをし、全国から寄せられた海の砂を菖蒲田浜にまきます。その後、七ヶ浜の町花になっている「ハマギク」の苗を植栽するイベントもあります。

四時半からは、菖蒲田浜海水浴場の駐車場で、焼きそばやかき氷、ヨーヨーや輪投げなどの出店を行うのももちろん、様々な体験ブースの設置も予定しています。また、特設ステージでは地元の子どもたちによる歌や踊り、一般の方も参加できるカラオケ大会、太鼓演奏なども予定しています。そして、フィナーレには打ち上げ花火も用意してあります。

復興への足掛かり

準備や打ち合わせ時間もほとんどない中、なんとかお祭りとして形になったのは、菖蒲田地区の住民の多くは住宅を失ってしまった。今は仮設住宅や親せきのごとろなどにバラバラに住んでいる状態だが、この復興まつりを機会に再度集まって次のステップへのスタートにしたい。という地元住民の大きな協力があつたからです。

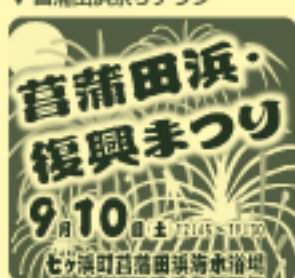
「家も流され、毎年おこなっていた祭を今年開催できないとあきらめていた。自分たちだけじゃ、もう無理だ。そう思ったとき、外の人が来て、きれいな浜を取り戻そうと手伝い始めてくれた。いつまでも下を向いていてはだめだ、また自分たちの力で立ち上がろう」という気持ちになったと地元住民は話します。この復興まつりをきっかけとして、町外から入ってきた力を受けて動き出す力をもつた地元住民は新たなスタートを踏み出そうとしています。

東日本大震災直後から、様々な団体から支援の手を差し伸べています。半年が経とうとして

いる中で、こうして地元住民と協同して行うプロジェクトが今後のひとつの復興への道になっていきます。

▲ 海岸清掃の様子

▼ 菖蒲田浜祭りチラシ



このお祭りに向けて、地元の方々やプロジェクト参加団体も準備に取り組んでいます。是非、九月十日

は七ヶ浜町の「菖蒲田浜・復興まつり」に参加して盛り上げましょう！
そして以前の浜を取り戻すためには、まだまだ継続して浜清掃を続けていく必要があります。美しい海を思い浮かべ、ぜひあなたも、海岸清掃ボランティアに参加してください！

【主催】菖蒲田浜・復興まつり実行委員会、七ヶ浜再生プロジェクト実行委員会
【協力】七ヶ浜町建設安全協力会、七ヶ浜町災害ボランティアセンター、七ヶ浜町復興研究会、豊かな海を守る会、海学校の学校、かほく「Oハ」クラブ、仙台サーフショップユニオン、NPO法人杜の伝言板ゆるる、みやぎ生活協同組合、株式会社みずほフィナンシャルグループ、多賀城市市民活動サポートセンター、NPO法人レスキューズストックヤード、(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

ボランティア受付

七ヶ浜再生プロジェクト

●E-mail kizuna@rsy-nagoya.com
●問合せ/TEL:090-2852-9994
(月~木10:00~15:00)

やるこじがある喜び

NPO法人みどり会



▲ 下山さんと施設長の今野さん

仙台市で精神障害者の自立を支援している団体です。仙台市内にグループホーム「みどりの家宮町」と「みどりの家中江」の二施設と、小規模作業所「みどり工房永和台」と「みどり工房若林」の四つの施設を運営しています。

日頃の訓練が役に立った

地震発生時、利用者は作業を終え休憩中でした。長時間揺れる地震の恐怖の中、なんとか自分を保ち、メンバーとスタッフは車で七郷小学校(仙台市若

▼ 津波で流された「みどり工房若林」跡



林区)へ避難しました。「災害が起こったときなど非常時は助けを待つスタイルではなく、自分でなんとかしないと、と自覚することが大切。」とみどり工房若林の施設長今野真理子さん。実は、今野さんは数年前から災害ボランティアネットワークの勉強しており、これが震災当日から避難所生活までとても役に立ちました。

避難の際、まず事前に準備していた三日分の防災用品の備えを持って逃げ、次の日にメンバーの薬を確保するため病院に足を運び、バラバラになった家族、スタッフとは情報の共有をするため、目立つところに張り紙をするなど、適切に行動しました。その結果、日頃からの避難訓練の功もあり、通所していたメンバー七人とスタッフ四名は、けがもなく避難し、十日間に及んだ避難所生活も、スタッフがメンバーに付き添い、共に避難所生活をしてきた為、なんとか乗り切ることができました。

再開へ向けて

工場の再生を心待ちにする方々に伝えるため、理事長の尾崎正光さんを中心に、早い段階で再開の意思を固め、三月二十六日には「みどり工房若林」の再建委員会を立ち上げ、復興に向けて動き出しました。

四月中旬から「太白区障害者福祉センター」を借りて活動を再開し、仙台市担当課との協議、「新工場の物件探し・契約・準備工事」、「補助金の申請」、「会員を始めとした各方面への情報開示・寄附依頼」等々、と精力的に活動。震災でスタッフ四名のうち二名が退職した中、なんと六月七日から新しい施設で「みどり工房若林」を再開することができました。「再開は本場に多くの方に支えられた結果です。また、スタッフだけではなく、メンバーさんも一緒に新たな施設を探してくるなど、応援してくれてとても心強かったです。」と今野さん。

輝く顔に

再開から三ヶ月が経ち、「みどり工房若林」も落ち着きを取り戻してきました。メンバーもスタッフも皆とても良い笑顔で、まるで家族のように過ごしています。

震災後は、これまで作ってきた製品がすべて流された上、加工する材料が手に入らないため、作業が無く、つらそうなお顔をしています。でも工場が始まると、一から作り始めなければならぬ製品作りも張り合いがあり、目の輝きが違って



▲ 手芸品

明るい顔になっていきました。今も、さをり織りやハンチングレザー、ピンズなどを使った様々な活動に取り組んでいます。

「やはり、やるこじがある、役割がある、ということば、みんな充実していて、いい顔になっていくんですよ。本場に今の生活が日常に戻ってきているという事です。」と今野さん。

これからは、以前のように農作業ができる場所を確保し、室内で作業をするか、外で農作業をするか選べるスタイルを取り戻していこうとスタッフは奔走しています。震災後、スタッフとメンバーの絆がより深まったことも嬉しいことです。

NPO法人 みどり会
小規模地域活動センター
みどり工房若林

〒984-0826
仙台市若林区若林2-5-58Kビル2B
●TEL 022-762-7610
●FAX 022-762-7611

幸せを感じられる未来に向かって

復興支援「EGAO(笑顔)せんだい」サポートステーション

震災から五カ月が過ぎた今、被災地では、これから被災地域の復興と被災者の生活再建等に向けた動きが本格化するに伴い、地域社会や被災者個々人のボランティアニーズも、これまでの応急復旧的な作業中心から、要援護世帯や仮設住宅入居者の孤立化の防止や生活上の様々なニーズに変化していくことが見込まれています。そこで発災後の三月十五日以降、仙台市社会福祉協議会は、仙台市内五区全てに災害ボランティアセンターを立ち上げ、支援活動をしてきましたが、それらのニ



ズに適切に対応するため、その窓口として八月十一日、「復興支援EGAO(笑顔)せんだい」サポートステーション」を開設いたしました。

EGAO(笑顔)マーク



震災により多くの悲しい出来事がありました。でも、多くのボランティアの方々が応援に駆けつけて、たくさんの方の優しさや勇

気、想いをいただきました。仙台市ボランティアセンターとしては、これから「幸せを感じられる未来に向かって」をキャッチコピーに、これからもボランティア活動で市民みんなが「笑顔」になれることを全力で応援(サポート)していきたいとの思いと、「想い・や・人」が集まれる場所(ステーション)として、「復興支援EGAO(笑顔)せんだい」サポートステーションという名称にしました。マークは、八月十日まで仙台市宮城野体育館に設置してきた「仙台市津波災害ボランティアセンター」で生まれたキャラクターで、みんなに感謝を示すための「笑顔であいさつ」から来ています。仙台のまちが「EGAO(笑顔)」でいっぱいになるように、この想いを込めて活動を展開しています。

サポートステーションの仕事

ボランティア依頼要請(ボランティアしてほしい方)

☆下記の専用番号で受け付けます。依頼を受け付ける活動内容は、現状の地震・津波被害の復旧活動に加え、生活支援・生活再建支援に関する復興活動が対象となります。

ボランティア活動希望者(ボランティアしたい方)

☆事前登録制です。所定の登録用紙を提出し、登録してください。
☆ボランティアの派遣日時は、依頼要請をいただいてから調整して決定します。

災害ボランティア情報に関する各種相談受付

災害ボランティア情報の提供

☆ホームページ「復興支援EGAO(笑顔)せんだい」サポートステーション」(<http://www.sswc.ne.jp/>)を開設し、仙台市内の災害ボランティアに関する情報等を更新し、発信しています。

災害ボランティア活動の紹介

☆仙台市以外の災害ボランティアセンターの開成状況やボランティア募集状況等の情報を収集し、参加希望者と現地をつなぐよう努めています。

サポートステーションの仕事



限定オリジナルTシャツ販売中



復興支援「EGAO(笑顔)せんだい」サポートステーション

仙台市社会福祉協議会
 ・仙台市ボランティアセンター
 仙台市青葉区五橋2-12-2
 仙台市福祉プラザ4階
 ●EGAO専用番号 022-266-6805
 ●代表番号 022-262-7294

NPOで高校生の夏ボラ体験

〜三日間の新しい気づき〜

2011

杜の伝言板ゆるるは、例年より遅れて八月から、高校生の夏ボラ体験をスタートしました。三月の震災があったことで、多くの高校が春休みを延長し、夏休みにその振替授業を実施している高校が多くを占めたため、今回の開始時期となりました。それでも参加者募集には、二百名を超える応募があり、日程等の調整の結果、百名ほどの高校生が、平均三日間のボランティア体験をしました。

高校生を受入れてくれたNPOは、十二団体。中でもこの震災で、大きな打撃を受けながらもボランティアアフロラムを組んでくれた団体が、NPO法人冒険あそび場―せんたい・みやぎネットワーク。仙台市から指定

管理を受けて運営していた仙台市若林区井土にある海岸公園冒険広場(以下、冒険広場)は、あつという間に津波が押し寄せ、



▲生産農家さんから話を聞く

小高い丘を残して水没してしまいました。幸いそこに避難したスタッフや近隣の住民は、無事に救出されました。が、今の冒険広場は再開の目途はたっていない。

例年、その場で夏ボラ体験をしていましたので、今回の受け入れを再検討し、今年度は、若林区からの委託事業で運営している「若林区産地地消ショップ産直広場ぐるぐる」で受け入れることになりました。

食を届ける

海岸公園にあった「若林区産地地消ショップ産直広場ぐるぐる」の作業場も津波の被害に遭い、跡形もなくなっていました。現在、若林三丁目に事務所を構えています。この事業は、ショップ運営や食育を意識したイベントなどを通して生産者と消費者を結び、たくさんの人に若林の地場産品を身近に知ってもらいたいと、若林区から受託したものです。この名前は、地元をぐるぐる回り、たくさんの人とネットワークをつなげ、皆さんを、幸せの輪の中にくぐるると巻き込みたい！という思いが込められています。

ぐるぐるは、震災後の三月二十二日に販売を開始し、若林区のほかにも、仙台市宮

城野区の鉄砲町でも出展販売をしました。震災直後は、なかなか食料が手に入らず販売を待ち望む消費者と、事情があり市場におろすことが出来ない生産者物をつなぎ、販売しました。

実体験からわかること

▼がれきとゴミ拾い



夏ボラ体験 初日、担当の鈴木公子さんは「外での作業が多くなります。声かけはしますが、しっかりと自己管理しましょう」とアドバイスしました。午前中は、翌日から荒町商店街で行う「荒町どいち」で販売する野菜を、生産農家に訪問して収穫しました。

「収穫から、袋詰めまでの作業を体験し、大変さが身にしみました。こんなに大変な作業だとは思いませんでした。」とは、名取高等学校三年の高槻知子さんの感想です。

午後は場所を移し、津波を被った農家の畑で、がれきとゴミ拾いをしました。今まで、「産直広場ぐるぐる」に野菜を卸していた生産農家のみなさんへ何かできることはないかと考え、畑の再生に向けてお手伝いをする事になりました。作業前には、生産農家の方から震災から現在までの様子を聴きました。

津波が押し寄せた畑の中には、がれきや「ゴミ」があり、機械を入れ耕してしまうと、機械の故障の原因になるため、取

り除く作業は、手作業で行わなければなりません。今までの農地を取り戻すためには時間と人手が必要不可欠です。「農業に興味があり、今回夏ボラ体験に応募しました。実際に被災した農家のお手伝いを体験して、農業は根気のあることなのだ実感しました。」と、聖三三二〇学院高等学校二年の小田島杏美さん。店頭に立って販売するので、今日よりも周囲を見て臨機応変に動けるようにしたいです」と振り返り得意げに語りました。

三日目の最終日は、農家の方から事前に教えてもらった野菜の特徴をもとに、お客さんと話をしながら二日間荒町で収穫した野菜を販売しました。初日は、慣れない呼び込みが苦戦しましたが、二日目にはお客さんとのやり取りもできました。

地元をぐるぐる回り、人と人をつなぐ。高校生も三日間という短い期間の中で、その輪の中に溶け込んでいました。

NPO法人冒険あそび場
―せんたい・みやぎネットワーク事務局
〒980-0803
仙台市青葉区国分町3-8-17 日東ハイツ202
●TEL/FAX:022-264-0667
●E-mail asobo@coral.plala.or.jp

産直広場ぐるぐる
〒984-0826
仙台市若林区若林3丁目1-18若林ハイツ103
●TEL/FAX:022-264-0667
●E-mail sentyokuhirobe_gunuguru@yahoo.co.jp
●URL http://sentyoku-gunuguru.p1.bindsite.jp/

NPOのコミュニティビジネスを応援! ～ショップスペース～

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。



またオム
けます。
個別相談
も受け付
けます。

クーシユの会は、人に相談しにくい、排泄の悩み、の改善のため、情報の提供や相談、講座などをおこなっています。ショップでは、メーカーの枠を超えた約二百種類の排泄用具や補助下着を展示。

「三つむしき」 「下着とおむつの情報館」 クーシユの会

広さは各十坪あり、販売事業やギャラリーとして利用できます。入居団体は選考委員会によって選ばれ、三年間を限度に入居することができます。

三年間常設のショップ ＆ギャラリー

みやぎNPOプラザにはコミュニティビジネスを目指すNPOの、販売事業やPRをおこなうためのショップスペースがあります。これはインキュベーター(育成)機能の一端で、開館当時から設置しています。こうしたNPOのショップを常設しているNPO支援施設は、宮城県内はもちろんです。全国でもほとんど見られず、みやぎNPOプラザの大きな特徴となっています。

またオム
けます。
個別相談
も受け付
けます。

クーシユの会は、人に相談しにくい、排泄の悩み、の改善のため、情報の提供や相談、講座などをおこなっています。ショップでは、メーカーの枠を超えた約二百種類の排泄用具や補助下着を展示。

「三つむしき」 「下着とおむつの情報館」 クーシユの会

広さは各十坪あり、販売事業やギャラリーとして利用できます。入居団体は選考委員会によって選ばれ、三年間を限度に入居することができます。

三年間常設のショップ ＆ギャラリー

みやぎNPOプラザにはコミュニティビジネスを目指すNPOの、販売事業やPRをおこなうためのショップスペースがあります。これはインキュベーター(育成)機能の一端で、開館当時から設置しています。こうしたNPOのショップを常設しているNPO支援施設は、宮城県内はもちろんです。全国でもほとんど見られず、みやぎNPOプラザの大きな特徴となっています。

またオム
けます。
個別相談
も受け付
けます。

クーシユの会は、人に相談しにくい、排泄の悩み、の改善のため、情報の提供や相談、講座などをおこなっています。ショップでは、メーカーの枠を超えた約二百種類の排泄用具や補助下着を展示。

「三つむしき」 「下着とおむつの情報館」 クーシユの会

広さは各十坪あり、販売事業やギャラリーとして利用できます。入居団体は選考委員会によって選ばれ、三年間を限度に入居することができます。

三年間常設のショップ ＆ギャラリー

みやぎNPOプラザにはコミュニティビジネスを目指すNPOの、販売事業やPRをおこなうためのショップスペースがあります。これはインキュベーター(育成)機能の一端で、開館当時から設置しています。こうしたNPOのショップを常設しているNPO支援施設は、宮城県内はもちろんです。全国でもほとんど見られず、みやぎNPOプラザの大きな特徴となっています。

● NPO法人の設立を新しく申請した団体 (2011年7月11日～8月10日申請分)			
団体名	所在地	活動内容	受理日
アスイク	仙台市青葉区	子ども・若者に対する教育的支援事業等	7/14
スマイルシード	仙台市青葉区	震災復興事業	7/25
ゆにふりみやぎ	仙台市青葉区	観光事業者等のバリアフリーの情報発信、提供事業等	7/26
Miyagi International Support Organisation	塩竈市	外国語教育普及事業	8/1
気仙沼復興商店街	気仙沼市	商店街復興事業	8/4

● NPO法人に認証された団体 (2011年7月11日～8月10日まで)			
団体名	所在地	活動内容	受理日
みちのく復興の会	仙台市太白区	被災者及びその地域社会に対する支援事業等	7/27

宮城県の
NPO法人数

588

団体

2011年8月10日現在数
※新設、所轄庁変更、廃止取消、
消滅した団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区権ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

助成金情報

東北関東大震災 ボランティア活動基金(第3次)

- 助成対象:(1)被災地復興・再生を目的とした事業
実施に必要な経費
(2)その他、上記(1)の目的を達成するために必要な経費
※災害弱者の救済や被災者のメンタルケア、中長期的な復興支援の活動は優先的に助成
- 対象団体:東北関東大震災(東日本大震災)で被災した地域の救援・復興支援目的とした活動を行う被災地域もしくは新潟県内のNPO等。法人格の有無は問わず、草の根の任意団体も可
- 助成金額:(1)1回の募集につき1団体上限20万円
(1団体3回、60万円まで応募可)
(2)他の助成金や自己資金との併用も可、申請書にその旨を明記
※総額500万円程度
- 助成期間:平成23年3月11日以降または今後実施予定の事業
- 募集締切:9月19日(月) 24:00必着
- 振り込み先:第四銀行 高田営業部 普通2020613
特定非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター 東北関東大震災ボラ活動基金
- 連絡先:(特活)新潟NPO協会
〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ1階
TEL:025-280-8750
FAX:025-281-0014
E-mail:info@nan-web.org

※この基金は、県内中間支援組織3団体が連携して運営しています。 <http://blog.canpan.info/tohoku-v/>

平成24年度 公益事業振興補助事業

- 助成対象:(1)公益の増進
◆重点事業/自転車・モーターサイクル、文教
◆社会環境、国際交流の分野における活動
◆一般事業/体育・スポーツ、医療・公衆衛生、文教・社会環境の分野における活動
◆新世紀未来創造プロジェクト/小学生・中学生・高校生の健全育成に資する交流・研究活動
(2)社会福祉の増進
◆児童、高齢者、障害者、車両整備等福祉活動
(3)非常災害の援護
◆非常災害時の救援物資の購入、管理、輸送、供与又は貸与に関する事業
(4)地域振興(東日本大震災復興支援補助)
◆被災地域・被災者受入地域における支援拠点づくり活動
◆被災者に対するカウンセリングや被災地域の記録、実地調査活動
◆被災者や被災地域が行う復興活動
※詳細は要項をご確認ください
- 対象団体:(1)(2)(4)財団法人・社団法人、社会福祉法人、更生保護法人、NPO法人、その他公共的な法人
※新世紀未来創造プロジェクトについては、国公立・私立の小学校・中学校・高等学校、NPO法人が対象
※東日本大震災復興支援補助については、上記法人の他、大学に所属する研究者(大学生・大学院生は除く)も対象となります
- (3)日本赤十字社法に基づいて設立された法人
- 助成金額:100万円～2億円(事業により異なります)
- 助成期間:平成24年度中に開始・完了する事業
- 募集締切:9月30日(金) 17:00必着
- 連絡先:財団法人JKA 補助事業グループ
公益・福祉振興チーム
〒102-8011 東京都千代田区六番町4番地6
英金ビル FAX:03-3512-1277
E-mail:koeki24yobo@keirin-autorace.or.jp

平成24年度 社会福祉事業研究開発基金

- 【一般助成】
- 助成対象:社会福祉に関する処遇技術の開発等、先駆的・開発的事業
- 対象団体:社会福祉に関する民間の事業で、先駆的・開発的活動研究に従事する個人および団体
- 助成金額:上限50万円(総額500万円、15件程度予定)
- 【特別助成】
- 助成対象:社会的課題となっており、対応が急務となっている以下の事業を優先して助成
(1)精神障害者(発達障害者を含む)に関する支援事業
(2)児童虐待防止に関する支援事業
(3)ホームレス問題に関する支援事業
(4)更生保護の活動に関する支援事業
(5)認知症に関する支援事業
- 対象団体:所定の要件を満たす、国内に存在する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体等
※特別助成については、各都道府県・指定都市の社会福祉協議会の推薦が必要です
- 助成金額:上限100万円(総額2,000万円、40～50件程度予定)
- 【共通事項】
- 助成期間:平成24年度内に行われる事業
- 募集締切:9月30日(金) 必着
- 連絡先:社会福祉法人 社会福祉事業研究開発基金
助成申込係
〒100-6611 東京都千代田区丸の内1-9-2
グラントウキョウサウスタワー
住友信託銀行株式会社 年金信託部 業務企画課
TEL:03-6256-3581 FAX:03-6256-3589

「地球にやさしいカード」による助成

- 助成対象:森林の保全、森林に依存して生息する野生動物の保護、砂漠緑化及び土壌流出防止の各調査研究と実践、その他上記の目的達成のために行う調査研究活動
- 対象団体:法人格の有無を問わず、上記の目的にそった活動をしている団体
- 助成期間:原則として平成24年度内
※審議委員会の審査により、最長3年間まで継続可能
- 助成金額:上期、下期合計で50万円～1千万円以下(各テーマのカード会員によるカード利用額をもとに計算されるため、テーマ、年度ごとに金額が変わります)
- 募集締切:9月30日(金) 必着
- 連絡先:(財)緑の地球防衛基金 地球にやさしいカード係
〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16
馬事畜産会館203
TEL:03-3297-5505 FAX:03-3297-5507
E-mail:defense@green.email.ne.jp

第7回 TOTO水環境基金

- 助成対象:日本国内および海外で行われる以下の活動
・地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動
・地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動
- 対象団体:所定の要件を満たす、日本国内に本部を有する営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)
- 助成金額:助成総額約1,000万円、件数は10件程度
- 助成期間:2012年度中に行われる活動・事業
- 募集締切:10月10日(月) 消印有効
- 連絡先:TOTO株式会社 総務部 TOTO水環境基金係
〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1
TEL:093-951-2224 FAX:093-951-2718

- 1日のみの受講でも参加費は変わりません
- 場 所:土屋不動産ビルPARM-CITY131
5F会議室(仙台市青葉区一番町3-5-1)
 - 講 師:加藤潔氏(札幌市自閉症・発達障がい支援センター「おがる」所長)
 - 定 員:50名
 - 参加費:一般15,000円、サポートネット会員:12,000円
円メンター初級認定者の会員:8,000円
(全て2日間)※支援チケットの利用可
 - 申込方法:氏名(ふりがな)、住所、電話番号・FAX・メールアドレス(あれば)、所属(法人・事業所名)、振込人名義、振込金額とチケット利用枚数、受講希望回とタイトルを明記の上、FAX、メール、郵送にて申込。申込後、参加費振込の案内を通知。入金確認後、受講票を送付。
 - 主 催:認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
 - 連絡先:TEL:022-265-5581 FAX:022-352-7088
E-mail:mddsnet@yahoo.co.jp

9/25 第51回 宮城県母親大会in白石

生命を生み出す母親は「生命を育て」「生命を守ること」をのぞみます。～心をつなぎ、力を合わせ、ともに笑顔をとれどもどそう～

- 日 時:9月25日(日)10:00～16:00
- 場 所:白石市立白石第一小学校
- 内 容:★東日本大震災復興支援バザール
&交流のひろば
★報告「震災は私たちに何をもたらしたのか」
★記念講演「憲法を復興に活かして～原発のない安心・安全な世の中をめざして～」
【講師】伊藤千尋氏
(朝日新聞土曜版「be」編集部員)
★クミココンサート「INORI～祈り～」他
【歌手】クミコ氏(シャンソン歌手)
- 参加費:700円(高校生以下無料)※参加費とバザー収益の一部は、震災支援金になります。
- 託 児:300円(1歳児から)
- 主 催:第51回宮城県母親大会実行委員会
白石実行委員会
- 連絡先:【第51回宮城県母親大会実行委員会】
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
TEL/FAX:022-219-2693
【白石実行委員会】
TEL/FAX:0224-26-2690

9/25 中谷彰宏講演会 「希望を仲間と作っていこう」

- 日 時:9月25日(日) 13:00～15:00
- 場 所:三日町オレンジコミュニティカフェ チャの木
- 講 師:中谷彰宏氏(作家、中谷塾主宰)
- 定 員:50名(先着順)
- 参加費:5,000円
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 申込締切:定員になり次第
- 主 催:(特活)ネットワークオレンジ
- 連絡先:事務局 〒988-0085 宮城県気仙沼市滝の入5-22
TEL:0226-22-1669
URL:<http://blog.canpan.info/orange-orange>
<http://blog.canpan.info/kms/>

9/30 被災地「支援者」のためのスキルアップ研修& 相談会第2回「問題解決実践ワークショップ(1)」

被災地支援の現場で困っていること、悩み、ストレスなど、これから長期的な支援を続けていくうえでどのように対処したらよいか皆で一緒に考えてみませんか。

- 日 時:9月30日(金) 19:00～21:00
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 対 象:被災地支援、復興支援に関わる人々すべて
- 定 員:30名
- 参加費:無料
- 主 催:人権NPO World Open Heart
- 協 力:(特活)まなびのたねネットワーク
- 連絡先:TEL:022-398-7129 携帯:090-5831-0810
E-mail:world.open.heart@gmail.com

10/9 市民による就学相談会

障害児の地域での就学を求める立場から、教育委員会とは別に父母・教師などによる独自の就学相談を行います。来年度就学を迎える方、現在就学中で様々な不安や悩みをお持ちの方など、どうぞお気軽に参加ください。子ども連れでも結構です。

- 日 時:10月9日(日) 13:30～16:00
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 研修室3
- 参加費:無料
- 主 催:共育を考える会
- 連絡先:昼間/TEL:022-299-1279(コッペ)
夜間/TEL:022-294-6206(担当:飯嶋)
E-mail:hak58670@rio.odn.ne.jp

10/17 10/18 回想法研修会 inSENDAI

「回想法」とは、懐かしい写真・映像や生活に密着した小道具など使って五感を刺激し、脳を活性化させる認知症予防・治療方法の一つです。初心者の方でも歓迎します。

- 日 時:10月17日(月)～10月18日(火)
両日10:00～16:00
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 3階研修室
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師:来島修志氏(日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻助教)
- 内 容:★10/17 基礎研修 ★10/18 専門研修
※研修会修了者には、仮設住宅での活動に実践者(有償ボランティア)として参加していただければと考えております。(希望者のみ)
- 対 象:どなたでも
- 定 員:30名(定員に達し次第締切)
- 参加費:2日間12,000円(初日のみ受講の場合7,000円)
※2日目のみの受講は不可
- 申込方法:氏名、住所、年齢、職業または所属団体、連絡先を記入の上、FAX、メール、ハガキにて申込
- 申込締切:9月20日(火)
- 主 催:(特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先:〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2
クリップビル内
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
E-mail:npo20thcas@yahoo.co.jp
URL:<http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/>

- 対象:大切な人を亡くされた方・グリーフケアに関心のある方
- 参加費:無料
- 定員:100名(予約不要)
- 【ファシリテーター養成講座】
- ※要予約、必ず基調講演を聴講してください。
- ファシリテーターは、ご遺族や子どもたちの気持ち表現を助けます。カウンセリングやセラピーではありません。
- 日時:9月18日(日)13:00~17:00、9月19日(月)11:00~16:00
- 講師:仙台グリーフケア研究会・あしなが育英会スタッフ
- 場所:仙台青葉学院短期大学(JR仙台駅東口より徒歩10分、地下鉄五橋駅より徒歩5分)
- 対象:東北圏域に在住で、今後、遺児のワンディプログラムなどのボランティアに参加できる方。
- 参加費:無料
- 定員:50名
- 主催:仙台グリーフケア研究会
- 連絡先:仙台グリーフケア研究会事務局
TEL:080-3326-5612 FAX:022-369-8012
E-mail:griefoffice@gmail.com

9/23 せんだい地球フェスタ2011 ～世界中の友達へありがとう～

多文化共生、国際交流、国際協力などの活動をしている団体が仙台国際センターに集合し、様々な国の文化や習慣、雰囲気味わえる年に一度のお祭りです。世界中の人々ともだちへ感謝を込めて、今年もせんだい地球フェスタ、元気に開催します。

- 日時:9月23日(金・祝) 10:00~16:00
- 場所:仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山)
※仙台駅前(青葉通プラザ前)から仙台国際センターまでの無料シャトルバスも運行します。
- 内容:★在住外国人による日本語弁論大会
★ステージ・パフォーマンス
★報告会・講演会・写真展
★世界の文化☆体験広場
★世界のうまいもん ※なくなり次第終了
★参加団体による活動紹介ブース
★そのほかにもワクワク☆どきどきな企画が満載!
※内容は変更になる可能性があります
- 参加費:無料
- 主催:せんだい地球フェスタ実行委員会
- 連絡先:〒980-0856 仙台市青葉区青葉山
仙台国際センター
(財)仙台国際交流協会内
TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485
E-mail:plan2@sira.or.jp
URL:http://www.sira.or.jp/festa/

9/24 フォーラム「市民メディア全国交流集会<番外編>イン仙台」

東日本大震災時において、ソーシャルメディア等を活用し被災地・被災者に必要な情報提供等を行った「市民メディア」の取組みを報告、発表。参加者との意見交換・討議等を図る。

- 日時:9月24日(土) 10:30~18:00
- 場所:せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア
- 内容:★出展企画
東日本大震災時における市民・NPOなどの活動報告発表
★基調講演
◆津田喜章氏(仙台NHKアナウンサー)
★パネルディスカッション
【コーディネーター】
◆阿部清人氏(防災キャスター)
【パネリスト】
◆高橋厚氏(元東北放送アナウンサー)
◆三浦宏之氏
(株)プラスヴォイス代表取締役社長
◆内山裕信氏(有)アウィッシュ代表取締役
◆福長悠氏(東北大学文学部)
★交流懇親会(プログラム終了後、会費3,000円)
- 対象:市民メディア・オルタナティブメディアに取り組んでいる方、及び市民一般
- 定員:200名
- 参加費:無料
- 申込方法:下記ホームページから申込
(事前申込制。定員に達し次第締切)
- 主催:市民メディア全国交流集会
<番外編>イン仙台実行委員会
- 連絡先:TEL/FAX:022-795-4387(関本)
E-mail:s-eitaro@media.js.tohoku.ac.jp
URL:http://www.citizenmedia-sendai.com/

9/24 2011年 カウンセリング講座 「自己肯定の為のワークショップ」

今回の震災による環境の中で「ここに寄り添う」ことの大切さを一般市民の方と社会の中でどう役割を担っていったらよいかを考える講座を開催します。

- 日時:9月24日(土) 13:30~15:30
- 場所:仙台市市民活動サポートセンター6F
セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 参加費:1,000円
※入会金3,000円納入の方は年間講座無料
- 申込方法:氏名、住所、電話番号、年齢、希望の講座を明記の上、FAXにて申込
- 主催:仙台市カウンセリング研究会
- 連絡先:事務局 FAX:022-251-4961

9/24 ▶ 9/25 発達障害児・者 未来塾2011「発達障害者ジョブメンタートレーニングセミナー」第2回 「理解」から始まる自閉症スペクトラムへの確かな支援

「就労に繋げる支援」を大きなテーマに「具体的に支援を組み立てる手立て」を皆様とともに学びあい、参加者の各現場での実践力を養います。

- 日時:9月24日(土)、9月25日(日)
両日9:30~16:30
※両日ともに受講してください。

NPO法人の方やNPO法人取得を検討されている方、行政の担当者を対象に学習会を実施します。

- 日 時: 9月13日(火) 18:30~21:00
- 場 所: 仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール
- 講 師: 関口宏聡さん(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 プログラム・ディレクター)
- 参加費: 1,000円
●申込方法: 名前、所属、連絡先を記入の上、件名を「9/13学習会」として、メールにて申込
- 主 催: (特活) せんだい・みやぎNPOセンター
- 共 催: NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会
- 連絡先: (特活) せんだい・みやぎNPOセンター
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27
岡元ビル4階
TEL: 022-264-1281 FAX: 022-264-1209
E-mail: minmin@minmin.org
URL: http://www.minmin.org

9/17 地域活動に役立つ 印刷物のデザイン・レイアウト講座

NPOや市民活動の広報に印刷媒体での情報発信は欠かせません。しっかり分かりやすく、親しみやすく伝えるためのデザイン・レイアウトを学んでみませんか? 基礎からの分かりやすい講座です。

- 日 時: 9月17日(土) 13:30~15:30
- 場 所: 多賀城市市民活動サポートセンター会議室101
- 講 師: 真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 参加費: 1,000円
- 定 員: 15名(申込先着順)
- 主 催: NPOメディアデザインサポート
- 連絡先: (担当: 千葉)
〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL: 090-3049-0613 FAX: 022-224-5308
E-mail: npo@md-sendai.com

9/17 ▶ 9/19 Shortpiece! 仙台短篇映画祭2011

今年の仙台短篇映画祭では、約40名の監督たちが「明日」をテーマに制作した3分11秒の制作作品を連日上映。シンポジウムや交流会などの企画も行います。2011年秋の仙台で、映画がつなぐもの、映画でつなぐものを感じて下さい。

- 日 時: 9月17日(土)~9日19日(月・祝)
- 場 所: せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア
- 内 容: ★みんなで観よう! サンリオ・アニメーション
★3.11映画制作-311仙台短篇映画祭
制作プロジェクト作品「明日」
★レヌヌからの贈り物
★新しい才能に出会う
★水戸短編映像祭 presents
みとタンペン セレクション in 仙台
★3.11 A Sense of Home Films
なら国際映画祭
★シンポジウム
「その時、映画はどう動いたか」

★交流会ほか

- ※プログラムの詳細については下記HPをご覧ください
- 定 員: 各プログラム150席(全席自由・入替制)
- 参加費
【前売券】全日フリーパス+交流会バス:
3,000円(45セット限定)
【当日券】1プログラム券: 1,000円
小学生以下800円
(豊齢手帳・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで800円。バリアフリープログラムのみ500円、付き添いの方は無料)
- 託 児: プログラムにより有(要申込)
申込先: メディアテーク託児係
FAX: 022-713-4485
E-mail: office@smt.city.sendai.jp
締切: 9月10日(必着)
- プレイガイド: せんだいメディアテーク1F
「クレプスキュールカフェ」e+(イープラス)
- 主 催: 仙台短篇映画祭実行委員会
- 共 催: せんだいメディアテーク
- 連絡先: 仙台短篇映画祭実行委員会
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク企画・活動支援室内
TEL: 080-3146-6085
080-3194-1202(庄司)
E-mail: info@shortpiece.com
URL: http://www.shortpiece.com/

9/18 健康講座No.24 はじめての太極柔力球

今回は、ラバーを張ったラケットと砂の入った柔らかなボールを使って楽しむスポーツ「太極柔力球」を体験します。

- 日 時: 9月18日(日) 13:30~14:50
- 会 場: みやぎNPOプラザ
第2会議室(仙台市宮城野区榎ヶ岡5)
- 講 師: 今野ゆかり氏(健康管理士)
- 対 象: 健康づくりに関心のある方、
老若男女問わずどなたでも
- 参加費: 300円
- 主 催: (特活) 宮城県健康管理士会
- 連絡先: (代表: 太田)
TEL: 022-281-2388 FAX: 022-281-0827

9/18 311震災で大切な人を亡くした人をサポート する講演会&ファシリテーター養成講座

この度の大震災では多くの人が命を奪われました。多くの方が大切な人を亡くし、そのケア(グリーフケア)は今後ますますその必要性を増すものと思われれます。つきましては下記の要領で、「大切な人を亡くした人をサポートする」と題した講演会とグリーフケアスタッフ養成のための講座を開催します。

- 【講演会】
- 日 時: 9月18日(日) 10:00~12:00
- テ ー マ: 「311震災で大切な人を亡くした人をサポートする~悲嘆と向き合うこと支えること~」
- 講 師: 高橋聡美氏(仙台青葉学院短期大学精神看護学講師、仙台グリーフケア研究会事務局)
- 場 所: 仙台青葉学院短期大学(JR仙台駅東口より徒歩10分、地下鉄五橋駅より徒歩5分)

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-5-4
 (株式会社清月記内)
 TEL:022-782-6222 FAX:022-782-5778
 E-mail:info@jeto-miyagi.org
 URL:http://jeto-miyagi.org

電話相談

女性のための電話相談

家庭や仕事、人間関係、生き方など、女性が抱えるさまざまな問題に女性の相談員が応じます。震災後のストレスや困りごとについても、どうぞご相談ください。

- 相談電話番号:022-224-8702
- 相談日:月曜日・水～土曜日 9:00～15:30
- 主催:(財)せんだい男女共同参画財団/仙台市

イベント

9/10 仙台朗読奉仕の会 定期朗読会2011～祈り～

あの震災から半年経ちました。明るい未来に向かって…お気軽に誘い合わせの上お出かけください。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

- 日時:9月10日(土)14:00～16:00予定(開場13:30)
- 場所:仙台市福祉プラザ1階 プラザホール
- 朗読内容:★北上川～どこまでも青い空だった日(さとうたつお)
 ★東日本大震災 心をつなぐニュースより
 ★遠野物語(柳田國男)
 ★虔十公園林(宮沢賢治) ほか
- 参加費:無料
- 主催:仙台朗読奉仕の会
 TEL:022-227-4214 (担当:伊藤)

9/10 「オムツフィッター3級研修in仙台」 事前説明会&「下着とおむつと 排泄ケアのなっとく!講座」in大崎

- 日時:9月10日(土) 10:30～12:00
- 場所:(株)てづくり介護 社会貢献型通所介護事業所

- 業所「おちゃっこ倶楽部」内(大崎市三本木新沼字中谷地屋敷79)
- 内容:★第1部/下着とおむつの新しい選び方・つかい方
 講師:館亜美氏(オムツフィッター、介護福祉士)
 ★第2部/レクで楽しく失禁予防体操～骨盤底筋体操の実践～
 講師:中澤静香氏(介護福祉士、アロマコーディネーター)
 ※ズボンなどの動きやすい服装でお越し下さい。
 - 参加費:1,000円/人
 - 申込方法:電話、FAX、メールにて申込(要事前申込)
 - 主催:クーシュの会
 - 連絡先:「下着とおむつの情報館」
 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
 みやぎNPOプラザ1F
 TEL:022-344-6788 FAX:022-344-6790
 E-mail:couches@miyagi-npo.gr.jp

9/11 第46回 フリースクール合同親の会

不登校の話に限らず、震災で感じたことなどをお話くださっても構いません。話すのが苦手、今はあまり話したくないという方は無理に話す必要はありません。フリースクールを利用していない方でも参加できますので、お気軽においで下さい。

- 日時:9月11日(日) 13:30～16:00
- 場所:みやぎNPOプラザ 研修室
 (仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 参加費:500円
- 申込方法:不要
- 主催:フリースクール連
 サポートルームぶれいんはーと
 フリースクール西の平
- 連絡先:【フリースクール連】
 〒983-0038 仙台市宮城野区新田2-12-26
 田中アパート7号室 TEL:022-238-5302
 【サポートルームぶれいんはーと】
 〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21
 アークオフィスビル4F TEL:022-726-0654

9/13 新寄付税制&NPO法改正地域学習会 「こんなに変わった!」 NPO法・寄付税制改正を徹底解説!

6月に抜本改正された寄付税制とNPO法改正について、

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2011.8.17現在) 敬称略

- 匿名希望
 ★仙台市 岡本英太郎、佐藤和文、藤田依和子
 宮城県社会福祉協議会
 (特活)せんだいみやぎNPOセンター (特活)グループゆう
 (特活)シニアのための市民ネットワーク仙台
- 個人会員21名
 ★仙台市 小山かほる
- 情報会員77名
 ★仙台市 大田弘子、小野七瀬、遠谷幸恵、角田哲
 (特活)おひさまくらぶ
 ★大崎市 大崎市鹿島台まちづくり協議会

会員募集

会員種別	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便 口座番号 02250-0-43800
 振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、通達欄に会員の種別をご記入下さい)

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます
※正会員以外は、郵送での届達はありません

information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

11/12 第10回 仙台ゴスペル・フェスティバル ボランティアスタッフ募集

東北が歴史に残る奇禍に見舞われた今年、開催への強い希望や要望にこたえて、仙台の街を元気にする「仙台ゴスペル・フェスティバル」を開催します。歌声による東北復興支援活動を、皆で一緒に盛り上げていきましょう！
【一般ボランティア】

- 活動日時:11月12日(土)
- 活動場所:勾当台公園(円形広場)、仙台市商店街ほか
- 活動内容:当日のフェスティバル運営(ステージの準備、撤去、ガイドブックなどの配布、カンパの呼び掛け、歩道の安全確保など)
※事前に説明会を開催します。

【実行委員】

- 活動日時:全体実行委員会(毎月第一月曜19時～、変更もあり)担当部会により活動日は異なる。
11月12日(土)
- 活動内容:ステージ制作、会場使用許可、企画、広報、協賛、スタッフ募集など

【共通事項】

- 参加資格:国籍、年齢、性別、職業など不問
※18歳未満は保護者の同意・署名が必要
- 主催:第10回 仙台ゴスペル・フェスティバル
実行委員会
- 連絡先:〒981-8003 仙台市泉区南光台7-23-69
TEL/FAX:022-762-5742
E-mail:info@gosfes.org
URL:http://www.gosfes.org

福祉有償運送リフト付自動車運行事業 運転ボランティア募集

一般の交通手段を利用することが困難な、車いすを使用する身体障害者の外出・社会参加を促進するための福祉有償運送リフト付自動車運行事業の運転ボランティアを募集しています。

- 活動日時:応相談
- 活動場所:運行圏域は仙台市内
- 活動内容:一般の交通手段を利用することが困難な方を対象に、車いすで乗車できるリフト付ワゴン車による送迎を行います。
- 応募条件:・普通自動車運転免許を有する65歳までの方
・過去3年以内に運転免許停止処分のない方
・運転免許一種の方は「代替講習」有り
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 申込締切:10月31日(月)
- 主催:財団法人仙台市障害者福祉協会
- 連絡先:(担当:藤原)
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2

仙台市福祉プラザ8F
TEL:022-266-0294 FAX:022-266-0292
E-mail:fujiwara@shinsyou-sendai.or.jp
URL:http://www.shinsyou-sendai.or.jp

事業案内

9/10 傷ついた女性のためのキャリア相談

「経験もないし資格もない…」就職について考え始めても、うかぶのは不安ばかり。そんなときは、「わたし」に向き合うことから始めませんか？相談することで、わたしの「つよみ」が「みつかる」かもしれません。

- 日時:9月10日(土)13:00～16:00(1人1回50分)
【毎月第2土曜日実施中】
- 場所:エル・ソーラ仙台(アエル29F)
- 講師:GEM(仙台キャリアアドバイザー、(特活)女性と仕事研究所 認定)
- 内容:働き方プラン、適性・適職さがし、履歴書・職務経歴書の書き方・送り方、面接の受け方 ほか
- 対象:仙台市内に在住・通勤・通学している女性
- 参加費:無料
- 託児:無料
※0か月～未就学児(原則)
※前日までに要申込み
- 申込方法:下記連絡先まで電話にて
- 主催:仙台市・(財)せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:エル・ソーラ仙台 管理事業課相談支援係
TEL:022-268-8302
(9:00～17:00、日祝・休館日を除く)

3.11東日本大震災 孤児の「生命(いのち)の物語」支援 “震災孤児”親族里親への震災孤児給付金制度

震災孤児の皆様への支援の一環として、一般個人・団体の皆様から募った寄付や賛助金を活用して「給付金支給事業」を実施いたします。皆様のご応募、心よりお待ちしております。

- 申請方法:以下の書類を揃え、下記連絡先まで申込
・申込書
・希望する遺児および親権者の戸籍簿本(保護者死亡日の記載のあるもの)
- 給付方法:1～2週間の事前審査を経て、郵送にて支給決定および支給予定についての詳細を連絡します。
・給付予定年数により給付金額を決定
・年1回給付予定(12月～3月の間に給付予定)
・非課税扱い
- 主催:JETOみやぎ
- 連絡先:JETOみやぎ運営事務局(担当:野川または大竹)

◆〈ろうきん〉は「助け合い」の金融機関。働く人の暮らしと福祉、社会の充実に取り組みます◆
宮城県勤労者地震災害特別融資制度のご案内

宮城県と
ろうきんが提携し、
東日本大震災で
被災されたみなさんを
応援します！

宮城県勤労者地震災害特別融資制度

お申込み期間 平成23年9月30日まで

**ご利用
いただける方** ●企業等に勤務し、宮城県内に住所か勤務先がある方
●原則満20歳以上で、勤続年数1年以上、前年税込み年収が150万円以上の方 ●当金庫の審査基準を満たされる方

お使いみち 震災による生活再建及び復旧のために必要な資金
●家屋の修繕・改修費用 ●家財道具購入費用 ●車両の修理・買換費用 ●傷病の入院・治療費 ●葬祭費用
●賃貸住宅入居費用 ●当面の生活資金 ●その他災害復旧に要する資金(但し、借換え資金は除く)

ご融資金額 最高 **200万円** **ご融資期間** 最長10年以内 **金利** 年 **0.80%**(固定金利)

担保・保証 担保は不要です。当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。
保証料は別途(年0.4%~年0.8%)必要になりますが、保証料が一部補給される制度もあります。 2011年8月1日現在

お問合せは、お申込は
東北ろうきん 宮城県内の
最寄の店舗へ

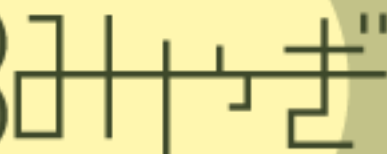


フリーダイヤル 行く行くろうきんに
0120-1919-62
ホームページ <http://www.tohoku-rokin.or.jp>
〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15

被災したNPOの復興支援募金サイト
<http://fukkou-miyagi.jp/>

NPOの現状を
受け止め、
募金活動に
ご協力ください!

復興



杜の伝言板ゆるるは、
被災し資金が不足している各NPO法人のページを
作り、これまでの活動状況や被災状況、
今後の計画について掲載。
寄付者が応援したい団体を直接選んでNPO法人に
寄付する仕組みをつくりました。

お問合せ/NPO法人杜の伝言板ゆるる 連絡先は、下記をご覧ください。